

市民の立場に立った市政とは？その4

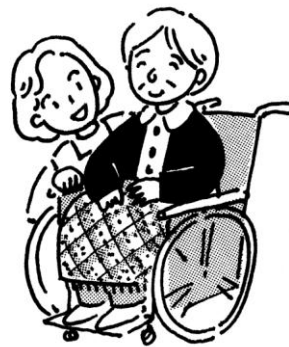
前は「自前の資源で地域おこし」でしたが、今回は、沼田市をどうしたら活性化できるか考えてみました。

市民総参加であらゆる分野で知恵を出す

沼田市は、2007年度を初年度とし、2016年度を最終年度とする「第5次総合計画」という10か年計画にそって現在の市政が進められています。この総合計画の「基本計画」は、6章からなっています。

第1章は「教育・文化環境づくり」で、おおむね国の文教方針に沿って計画が作られており、教育委員会は、国の教育施策と総合計画に沿った形で、毎年「沼田市教育行政方針」が策定され、学校や教育・文化施設などで教育・文化施策が進められています。

第2章は、「保健・医療・福祉環境づくり」で、保健・医療・福祉の総合的かつ継続的なサービスの提供を推進するという目標を掲げていますが、これらの総合計画を受け、14年度を目標とした「生き生き長寿のまちづくり計画」で高齢者福祉を、「次世代育成支援行動計画」で子育て支援などをすすめ、今年度中にこれらに障害者対策計画なども含めた「沼田市地域福祉計画」が策定されます。



第3章は、「環境づくり」で、総合計画を受けて14年度を目標年度とした「沼田市環境基本計画」が策定されています。

第4章は、「都市基盤・生活環境づくり」で、これも4年前におおむね20年後を想定した「沼田市都市計画マスタープラン」によって具体化が進められています。

産業づくりこそ独自の推進計画が必要

新産業振興条例を策定せよ

第5章は、「産業づくり」ですが、総合計画に農業、林業、水産業、商業、工業、観光とそれぞれ施策を推進するとなっていますが、これらを具体的にいつまでに取り組むというような「独自計画」が、1～4章の他の計画とは違ってまったくありません。あるのは「中心市街地商業等推進計画」ぐらいです。ここに大きな問題があるのです。それぞれ振興策には取り組んでいますが、先を見

3子以降の保育料は無料化に・・・新年度予算

沼田市の新年度予算が先日晒されました。それによると、新年度から第3子を保育園や幼稚園に入園させた場合の保育料を条件なしで無料化にします。これらにかかる予算は、2600万円ほどです。少子化対策・子育て支援として日本共産党市議団が強く求めていました。第3子の条件付き無料化から一歩前進しました。今後も子供の保育料完全無料化を求めて運動を続けていきます。



保育園運動会で

サラダパークに環境教育用小水力発電施設

沼田市環境課は、サラダパークに環境教育施設整備を進めるため、今年度は「小水力発電施設」を整備します。2月4日に入札が行われ、(有)上毛設備工事が2,604万円で落札し、3月中に完成します。今後も太陽光発電、風力発電、地熱発電などの教育用の小さな発電施設を整備していく予定です。今回の水力発電は500Wです。

✓据えた総合的な計画になっていない、場当たりの一部の人たちで推進策を決めて実施していつてしまう。市の予算を使ってうまくいかななくても、あとは野となれ山となれです。この典型が、「グリーンベル21」ではないでしょうか。そして今は、中心市街地区画整理事業、住民の半分を追い出して、一部の人たちが利益を得ているやり方では、真の再生はあり得ません。住民のすべてが納得できる街づくりに転換すべきです。

住民基本条例の制定を

さらに第6章では「パートナーシップづくり」、いわゆる市民参加ですが、これも本市は大変遅れています。総合計画をはじめそれぞれの計画策定の段階でも従来型の市の名士をづらりと並べて委員にしています。委員の公募などはごく一部で、パブリックコメントなども少し始まったところですが、市民参加の権利を保障する「自治基本条例」の策定がどうしても必要です。

2014年2月16日	690
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983	☎ 23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	